

PAT-NO: JP02002058652A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002058652 A

TITLE: METHOD FOR DIFFERENTIATION OF SKIN TENDENCY

PUBN-DATE: February 26, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MORI, SACHIYOSHI	N/A
YOSHIHAMA, KEIICHIRO	N/A
NISHIHARA, TAEKO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
POLA CHEM IND INC	N/A

APPL-NO: JP2001171511

APPL-DATE: June 6, 2001

PRIORITY-DATA: 2000168440 (June 6, 2000)

INT-CL (IPC): A61B005/00, A45D044/00 , B42D015/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a technique for making exact advice and effective presentation thereof in the field of selection of cosmetics using differentiation of characteristics of skin.

SOLUTION: A season when a user was born is made an index to differentiate the tendency of the skin. The constellation is preferably used as a representative characteristic value. A plot on a plane made by an axis to present the occurring probability of the tendency of the skin and an axis to represents a month of birth is used to differentiate the tendency of skin.

COPYRIGHT: (C)2002,JP

PAT-NO: JP02002058652A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002058652 A

TITLE: METHOD FOR DIFFERENTIATION OF SKIN TENDENCY

PUBN-DATE: February 26, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
MORI, SACHIYOSHI	N/A
YOSHIHAMA, KEIICHIRO	N/A
NISHIHARA, TAEKO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
POLA CHEM IND INC	N/A

APPL-NO: JP2001171511

APPL-DATE: June 6, 2001

PRIORITY-DATA: 2000168440 (June 6, 2000)

INT-CL (IPC): A61B005/00, A45D044/00 , B42D015/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a technique for making exact advice and effective presentation thereof in the field of selection of cosmetics using differentiation of characteristics of skin.

SOLUTION: A season when a user was born is made an index to differentiate the tendency of the skin. The constellation is preferably used as a representative characteristic value. A plot on a plane made by an axis to present the occurring probability of the tendency of the skin and an axis to represents a month of birth is used to differentiate the tendency of skin.

COPYRIGHT: (C)2002,JP

DERWENT-ACC-NO: 2002-456992

DERWENT-WEEK: 200249

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Skin change possibility identification has zodiac sign,
based on birthdate, which is used as parameter when
judging changes of skin for giving appropriate advice

PATENT-ASSIGNEE: POLA CHEM IND INC[POKK]

PRIORITY-DATA: 2000JP-0168440 (June 6, 2000)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 2002058652 A	February 26, 2002	N/A	021	A61B 005/00

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP2002058652A	N/A	2001JP-0171511	June 6, 2001

INT-CL (IPC): A45D044/00, A61B005/00 , B42D015/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2002058652A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A zodiac sign, based on birthdate, is used as a parameter when
judging changes of skin for giving an appropriate advice.

USE - For selection of proper cosmetics.

ADVANTAGE - Allows effective presentation of appropriate advice due to the
zodiac sign.

CHOSEN-DRAWING: Dwg.0/15

TITLE-TERMS: SKIN CHANGE POSSIBILITY ZODIAC SIGN BASED PARAMETER JUDGEMENT
CHANGE SKIN APPROPRIATE ADVICE

DERWENT-CLASS: P24 P31 P76

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2002-36029

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-58652

(P2002-58652A)

(43)公開日 平成14年2月26日 (2002.2.26)

(51)Int.Cl'	識別記号	F I	マーク(参考)
A 6 1 B 5/00		A 6 1 B 5/00	M
A 4 5 D 44/00		A 4 5 D 44/00	A
B 4 2 D 15/00	3 3 1	B 4 2 D 15/00	3 3 1 Z

審査請求 有 請求項の数10 O.L. (全21頁)

(21)出願番号 特願2001-171511(P2001-171511)	(71)出願人 ボーラ化成工業株式会社 静岡県静岡市弥生町6番48号
(22)出願日 平成13年6月6日 (2001.6.6)	(72)発明者 森 福義 神奈川県横浜市神奈川区高島台27番地1 ボーラ横浜研究所内
(31)優先権主張番号 特願2000-168440(P2000-168440)	(72)発明者 吉浜 桂一郎 神奈川県横浜市神奈川区高島台27番地1 ボーラ横浜研究所内
(32)優先日 平成12年6月6日 (2000.6.6)	(72)発明者 西原 妙子 東京都品川区西五反田2-2-3 ボーラ 化粧品本舗内
(33)優先権主張国 日本 (JP)	(74)代理人 100089244 弁理士 遠山 勉 (外2名)

(54)【発明の名称】 お肌の傾向の鑑別法

(57)【要約】

【課題】 お肌の特性の鑑別を利用した化粧料の選択とそのアドバイスの分野において、的確なアドバイスの作成とその効果的なプレゼンテーションのための技術を提供する。

【解決手段】 生まれた季節を指標とし、お肌の傾向を鑑別する。季節の代表特性値として、好ましくは星座を用いる。淡い寒色を背景とした、お肌の傾向の出現確率を表す軸と生まれた月を表す軸の作る平面上に於けるプロットを用いてお肌の傾向の鑑別を行う。

1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 生まれた季節を指標とすることを特徴とする、お肌の傾向の鑑別法。

【請求項2】 生まれた季節が星座によって表現されることを特徴とする、請求項1に記載のお肌の傾向の鑑別法。

【請求項3】 鑑別により選択されるお肌の傾向が、
1) 脂っぽい傾向、2) ニキビが出来やすい傾向及び
3) くすみがでやすい傾向の何れかであることを特徴とする、請求項1又は2に記載のお肌の傾向の鑑別法。

【請求項4】 お肌の傾向が、1) 脂っぽい傾向、2) ニキビが出来やすい傾向又は3) くすみがでやすい傾向の出現確率を表す軸と生まれた月を表す軸の作る平面上に於けるプロットで表されていることを特徴とする、請求項1～3何れか1項に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

【請求項5】 請求項4に記載のプロットが淡色系の寒色をバックに表示されていることを特徴とする、請求項4に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

【請求項6】 淡色系の寒色が、淡青色、淡紫色及び淡緑色から選ばれる1種乃至は2種以上を混和して得られる色であることを特徴とする、請求項5に記載のお肌の鑑別のためのシート。

【請求項7】 請求項4～6何れか1項に記載のシートにおいて、お肌の傾向のプロットの上部に誕生日と所属星座の対応が可能な星座表を配置していることを特徴とする、請求項4～6何れか1項に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

【請求項8】 星座表が請求項4に記載のプロットの背景の色と同色を背景に描かれていることを特徴とする、請求項7に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

【請求項9】 化粧料の選択時に使用されること特徴とする、請求項4～8何れか1項に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

【請求項10】 黄道12宮の星座とお肌に関する情報とが同一紙面に記載されたシート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、化粧料などの選択時に重要なファクターとなるお肌の傾向の鑑別方法及びその為のシートに関する。

【0002】

【従来の技術】お肌の特質は個々人によって異なり、加えて、1個人が自分以外の人のお肌の経験をすることが出来ないことから、客観的にお肌の状態の認識を持つことは極めて困難であった。これは、例えば、「私は敏感肌だから化粧料があわない」と言う人の肌トラブルの真の原因を調べてみると、化粧料があわないので無く、使用法が適切ではない場合が少ないとなどが傍証として挙げられる。この様な認識形成は、その根本原因とし

10

20

30

40

50

ては、自分のお肌の特性の把握が出来ないことが挙げられる。この様な状況を背景として、より客観的にお肌の特性を知つてもらう手立てが種々開発されてきている。例えば、角層標本の剥離の均一性、角質細胞の形状などから肌特性を鑑別する方法などが挙げられる。しかしながら、この様な鑑別法によって、いくら正確に肌特性が鑑別できても、化粧料の使用者である、被験者がこの鑑別結果を適切に理解し、それに適した化粧行為を行わなければ、この様な鑑別に基づいた化粧法の指導も効果の少ないものになってしまう。この様な理解を妨げている最大の原因は、肌の鑑別或いは特性になじみが少なく、利用者が理解しようしないことにあると考えられる。即ち、かかる分野においては、的確なアドバイスの作成とその効果的なプレゼンテーションのための技術が望まれていたが、この様な技術は未だ得られていないのが現状であった。

【0003】この様な状況に鑑み、この様なアドバイスシートや問診票などは、近年多くのプレゼンテーションの努力が為されるようになってきている。例えば、この様な努力の例として、角質細胞の写真の掲載であるとか、概念イラストレーションの掲載などが例示できる。しかし、「角質細胞」「真皮」「有棘細胞」などの物々しい言葉に怖じて中身が見られないようでは、この様な努力もむなしいものになってしまふことが少なくない。

【0004】一方、お肌の特性に影響のあるファクターとしては、季節変化やストレスの有無などが挙げられているが、誕生月などの生まれた季節が要因の一つになっていることは、これまで全く知られておらず、この様な因子をアドバイスシートや問診票に記載された例は全くない。又、生まれた季節の変数として、所属星座を用いることは知られているが、この様な変数を用いることにより、生まれた季節の因子の認識をより高めることも知られていないし、この様な示唆により、後続のアドバイスの内容の的確な理解が誘導されることも全く知られていない。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、この様な状況下でされたものであり、お肌の特性の鑑別を利用した化粧料の選択とそのアドバイスの分野において、的確なアドバイスの作成とその効果的なプレゼンテーションのための技術を提供することを課題とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】この様な状況に鑑みて、本発明者らは、お肌の特性の鑑別を利用した化粧料の選択とそのアドバイスの分野において、的確なアドバイスの作成とその効果的なプレゼンテーションのための技術を求めて鋭意研究努力を重ねた結果、生まれた季節と肌トラブルの種類の間に因果関係が存在し、これを利用することにより、お肌の鑑別の確度を向上せしめ、更に、かかる生まれた季節の表示において、所属星座を用いる

ことにより、この様な関係をより如実に印象づけられ、お肌の適切な手入れを伝達しうることを見いだし、発明を完成させるに至った。即ち、本発明は、以下に示す技術に関するものである。

(1) 生まれた季節を指標とすることを特徴とする、お肌の傾向の鑑別法。

(2) 生まれた季節が星座によって表現されることを特徴とする、(1)に記載のお肌の傾向の鑑別法。

(3) 鑑別により選択されるお肌の傾向が、1) 脂っぽい傾向、2) ニキビが出来やすい傾向及び3) くすみがでやすい傾向の何れかであることを特徴とする、(1)又は(2)に記載のお肌の傾向の鑑別法。

(4) お肌の傾向が、1) 脂っぽい傾向、2) ニキビが出来やすい傾向又は3) くすみがでやすい傾向の出現確率を表す軸と生まれた月を表す軸の作る平面上に於けるプロットで表されていることを特徴とする、(1)～(3)何れか1項に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

(5) (4)に記載のプロットが淡色系の寒色をバックに表示されていることを特徴とする、(4)に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

(6) 淡色系の寒色が、淡青色、淡紫色及び淡緑色から選ばれる1種乃至は2種以上を混和して得られる色であることを特徴とする、(5)に記載のお肌の鑑別のためのシート。

(7) (4)～(6)何れか1項に記載のシートにおいて、お肌の傾向のプロットの上部に誕生日と所属星座の対応が可能な星座表を配置していることを特徴とする、

(4)～(6)何れか1項に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

(8) 星座表が(4)に記載のプロットの背景の色と同色を背景に描かれていることを特徴とする、(7)に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

(9) 化粧料の選択時に使用されること特徴とする、

(4)～(8)何れか1項に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

(10) 黄道12宮の星座とお肌に関する情報とが同一紙面に記載されたシート。以下、本発明について、実施の形態を中心に更に詳細に説明を加える。

【0007】

【発明の実施の形態】〔第1実施形態〕

(1) お肌の傾向と生まれた季節との関係

化粧料を適切に選択する為には、お肌の傾向を知ることが重要であることは言うまでもないが、お肌の傾向の因子としてはこれまで種々のものが挙げられてきている。例えば、季節の因子であるとか、ストレスの負荷の大きさであるとかがこれまで挙げられてきている。この様なこれまでに知られた因子以外に、お肌の傾向を律する因子を、個対応化粧料に於ける、化粧料の選択時に行う問診票のデータベースより探しした。ここで用いたお肌の傾

向としては、通常アンケートなどで気になる事項のベストスリーに挙げられる1) 脂っぽさ、2) 肌のくすみ及び3) ニキビ、吹き出物の出易さの3事項を取り上げた。これらのレベルと個人のプロファイルとを因子分析にかけたところ、生まれた季節、言い換れば誕生日の季節と相関することが判明した。これらのデータベースの内容を、誕生日とこの様な傾向の現れ易さの確率とをプロットした結果を図1に示す。この図より、脂っぽさが気になるような傾向のお肌の持ち主は、春から秋に生まれた人に多く、肌のくすみが出やすい傾向のお肌の落ち主は、秋から春にかけて生まれた人に多く、ニキビや吹き出物が出やすい傾向のお肌の持ち主は、初夏から夏に生まれた人に多いのが判る。これは、生まれて母体抗体から自己抗体に免疫系が移行する時期の機構的要因が、お肌の傾向に大きな影響を与えていためであると考えられる。従って、根本的にお肌が持っているこの様な傾向を知ることにより、適切な化粧料をより間違いなく選択しうることが判る。この様な基本事項を認識することは、通常は理解しにくいと言われている肌性について、親近感を覚えより深く知ろうとするイニシエーションとなる。この様にお肌の鑑別にあたって、生まれた季節を指標とすることが、本発明のお肌の傾向の鑑別法の特徴である。

【0008】(2) 生まれた季節の表示

ここで生まれた季節の表示にあたっては、誕生月による表示、誕生日による表示、所属星座による表示、誕生石による表示などが考えられ、本発明ではこれらの何れもが使用可能であるが、特に好ましいものは所属星座による表示である。この様な星座による表示は黄道12宮によるもの、13宮によるもの何れも可能であるが、黄道12宮によるものが特に好ましい。これはこの様な分類が広く一般的に知られたものであるからである。更には、この様な黄道12宮は占い等で広く知られており、親しみが深いからである。即ち、季節とお肌の傾向との関係についての因果関係を説明する場合、誕生日や誕生日を季節の変数として用いる場合よりも、所属星座を季節の変数として用いた方が、説明内容をより正確に把握してもらえるからである。

【0009】(3) 生まれた季節とお肌の傾向の関係の表示

本発明のお肌の傾向の鑑別のためのシートは、上記の鑑別法をシート上に分かりやすく表示し、このシートによりお肌の傾向を鑑別するものである。かかる表示にあたっては、生まれた季節とお肌の傾向との関係は、これらの2変数を用いた、座標平面上へのプロットとして表すことが好ましい。この様なプロットは白い地の色の上に暖色系の色の曲線で行うことが好ましく、更に、この暖色系の色は原色系の色ではなく混色系の色を用いることが好ましい。具体的には明るいカーキ色、ラベンダー調の紫乃至は赤紫、オレンジ乃至はダークオレンジ色が好

ましい。これは、肌の状態のイメージとこの様な色のイメージに親和性があり、この様な色によってより正確な認識を喚起できるからである。この様なプロッティングにおいては、点同士を滑らかに結んだ曲線で表すのが印象形成上は好ましい。この様なプロッティングした図は寒色系の色を背景を用いて表示することが好ましく、かかる寒色系の色としては、淡青色、淡紫色及び淡緑色から選ばれる1種乃至は2種以上を混和して得られる色であることが好ましい。これは上記のプロットを際だせる効果を有するためである。この様な効果により、お肌の傾向をより強く認識してもらうことが出来る。この様な堅実な自分お肌の傾向の認識は、お肌の手入れの時に印象深く作用し、適切な化粧行為を喚起する。又、この様な表示の効果は、上記プロットを星座の説明とともに掲示する事により、更に一層の効果を発揮する。これは、お肌の傾向を、星座をメタファーとして更に強く印象づけるからである。この様な星座の説明としては、誕生日と所属星座の関係、星座の象徴的なマークなどが例示できる。更には、通常の占いなどに記載されている星座に所属する人の全般的な性格や星座同士の相性、その星座に所属する有名人の例示などを記載することも出来る。又、星座を表すマークとしては、星座の人物や動物の象徴図や古来より使用されている星座の象形ロゴが例示できる。かかる星座の説明は、上記プロットと同様に寒色系の色を背景として表示することが好ましい。この様にして作成された本発明のお肌の傾向の鑑別のためのシートは、どの様にお肌をお手入れしたらよいのかの指針となるばかりではなく、お肌或いは化粧料についての技術的情報を理解することへの心理的障壁を取り除き、この様な技術情報を正確に理解しようとする気持ちを喚起するため、このシート単独で用いることも効果あることは勿論であるが、化粧料のガイドブック、パンフレット或いはアドバイスシートなどの比較的上位の頁に配置して、それ以後の記載事項の情報伝達の適性化に使用することも大変意義深く、この様な技術も本発明の技術的*

*範囲に属する。又、目的はどうであれ、黄道12宮の星座とお肌に関する情報とが同一紙面に記載されたシートであれば、本発明の効果を発揮するので、この様な構成を備えたものは本発明の技術的範囲に属する。

【0010】

【実施例】以下に、実施例を挙げて本発明について更に詳細に説明を加えるが、本発明がかかる実施例にのみ限定を受けないことは言うまでもない。

【0011】<実施例1> 個人カウンセリング化粧料

- 10 使用者1342名の、個人別カウンセリング商品の化粧料選択の際の個人プロファイルのお肌についての質問事項1)脂っぽさが気になりますか、2)肌のくすみを感じますか及び3)ニキビはよくできますかについて、これらからの回答と、その個人の誕生月とを集計しプロットしたところ、図1に示す。これより、生まれた月、即ち、季節がお肌の傾向、言い換えれば特定のお肌のトラブルを起こしやすい傾向の1因子になっていることが判る。

【0012】<実施例2>実施例1の図1をシートにプリントしたもの、お肌の分析の情報提供に対する影響を検討した。即ち、無作為に選抜した24名のパネラーを12名づつ2群に分け、実施例1の結果と肌の分析より、お肌のお手入れのポイントを説明し、この説明事項を記載したメモを渡した。この時1群には図1のプリントしたものを添付資料として渡し、残る1群には説明事項のメモのみを渡した。3日後に電話にて、お手入れのポイントの内容を覚えていたか確かめた。更に、メモを持っているかどうかを確認した。その結果を内容の正答率(%)と保持率(%)として表1に示す。これより、

- 20 30 図1とともに渡した群(図示群)は渡さなかった群(メモ群)に比して正答率及びメモ保持率ともに高いことが判る。これより、季節とお肌の関係の図示資料の添付がお肌の手入れの的確な記憶を喚起していることが判る。

【0013】

【表1】

群	正答率(%)	メモ保持率(%)
図示群	41%	50%
メモ群	25%	33%

【0014】<実施例3>実施例2と同様に、パネラー10名を用いて、図1に、星座に対する次のコメントを付けたものを配布し、同様に試験したところ、正答率は60%、メモ保持率は70%であり、星座との関連付けが情報の的確記憶と情報源へのアイデンティー向上に結びついていることが判る。

(天秤座～魚座) お肌のくすみが現れやすい傾向があります。

(牡羊座～乙女座) お肌の皮脂分泌が多く、脂っぽい傾

※向があります。

(牡牛座～獅子座) ニキビが出来やすい傾向があります。

【0015】<実施例4～6>無作為に選択したパネラー1群10名計30名を対象に、実施例2、3と同様に、図2に示す、誕生月とお肌の傾向を示すプロットと実施例3の星座に対するコメントとを記載した図面を用いて、背景の色とお肌の情報の伝達性とを試験した。用いた背景の色は淡青色、淡緑色及びピンクであった。結

果を表2に示す。これより、この様な情報伝達には背景色の影響が大きく、お肌の傾向の情報伝達には淡い寒色系の色が好ましいことが判る。中でも淡青色が特に好ましいことも判る。

【0016】

【表2】

実施例	背景の色	正答率(%)	メモ保持率(%)
実施例4	淡いピンク	60	60
実施例5	淡青色	80	90
実施例6	淡紫色	70	90

【0017】<実施例7>上記実施例5の図表に更に星座の表示を加えた図3に示すシートを作成し、上記の実験と同様に、30名のパネラーを用いて実験を行った。結果は正答率が93%であり、メモ保持率は97%であった。これより、星座の説明を付した方が好ましいことが判る。

【0018】<実施例8>実施例7にシートに美白化粧料の使用上の注意を記載した用紙を添付して下記の化粧水の使用テストを行った。即ち、パネラー50名を25名ずつ2群に分け、第1群は下記の化粧水のみを手渡す。

(化粧水)		
エタノール	5	重量部
1, 3-ブタンジオール	5	重量部
グリセリン	5	重量部
アルブチン	1	重量部
メチルバラベン	0. 1	重量部
水	83. 9	重量部

【0019】

★ ★ 【表3】

群	平均明度差	中断者数
第1群	1. 2	4名
第2群	1. 8	0名

【0020】〔第2実施形態〕次に、本発明の第2実施形態を図面を参照して説明する。第2実施形態で示す構成は例示であり、本発明は第2実施形態の構成に限定されない。第2実施形態として、ワールド・ワイド・ウェブ(WWW又はWeb)サイトを用い、お肌の傾向の鑑別方法の鑑別結果をWebサイトの利用者(ユーザー)に提供するシステムについて説明する。

【0021】<システム構成>図4は、お肌の傾向の鑑別システムの構成例を示す図である。図1において、鑑別システムは、Webクライアント200のユーザーがWebクライアント200に搭載されたWebブラウザを使用し、インターネットINを介してWebサーバ100にアクセスすることによって、お肌の傾向の鑑別結果を得るために使用される。このため、鑑別システムは、インターネットINに接続され、鑑別結果の提供者によって管理されるWebサーバ100と、インターネットINに接続され、鑑別結果の利用者(ユーザー)によって操作される

☆作される不特定数の(少なくとも1つの)Webクライアント200とを備える。以下、図1に示した各構成要素について詳細に説明する。

【0022】<<Webサーバ100>>Webサーバ100は、インターネットINを介してWebクライアント200からのHTMLデータの要求を受けつけ、インターネットINを介して、Webクライアント200に対し上記要求に応じたWebページのHTMLデータを送信する。具体的には、Webサーバ100は、HTTPサーバ110、CGI実行部120、データベース(DB)サーバ130、WebページフォーマットDB140を有している。

【0023】HTTPサーバ110は、インターネットINに接続されているワークステーション、パーソナルコンピュータ等において、HTTPDが動作することによって構成され、HTTPD実行部111及び記憶部112を有する。

【0024】HTTPD実行部111は、Webクライアント200から送信された各種の要求を受け付け、この要求に応じた処理を行う。例えば、HTTPD実行部111は、Webクライアント200からの要求がHTMLデータの要求であった場合には、この要求に対応するHTMLデータを記憶部112から読み出し、インターネットINを介してWebクライアント200に送信する。この例では、HTTPD実行部111は、肌分析のための質問に対する回答を入力するためのWebページ(「回答入力ページ」と称する)P1～P4を表示するためのHTMLデータの要求を、Webクライアント200から受信する。図5～10は、回答入力ページP1～P4の表示例を示す図である。

【0025】図5～10に示すように、回答入力ページP1～P4は、肌分析を行うための9つの質問(Q1～Q9)と、各質問に対する回答欄とからなる。図5に示すように、質問Q1は、肌の被分析者(Webクライアント200のユーザ)の生まれた季節を得るために質問であり、ユーザの星座を問う。回答入力ページP1は、質問Q1の回答欄として、星座の入力欄C1を有しており、入力欄C1の右側の「▽」ボタンが押されるとアルダウンメニューM1が表示され、ユーザがアルダウンメニューM1から星座を選択・入力できるようになっている(図6参照)。

【0026】また、図5に示すように、質問Q2は、ユーザが幼少期の大半を過ごした地域を得るために質問であり、ユーザの出身地を問う。回答入力ページP1は、質問Q2の回答欄として、出身地に該当する県名の入力欄C2を有しており、入力欄C2の右側の「▽」ボタンが押されるとアルダウンメニューM2が表示され、ユーザがアルダウンメニューM2から県名を選択・入力できるようになっている(図7参照)。

【0027】さらに、回答入力ページP1は、ユーザの普段過ごしている環境を問う質問Q3、及びユーザの生活環境・生活習慣を問う質問Q4、及びこれらの質問Q3、Q4の回答欄を有している(図5～7参照)。また、回答入力ページP2は、肌の脂っぽさを問う質問Q5、カサつきを問う質問Q6、及びこれらの質問Q5及びQ6の回答ボタンとして機能する複数の顔型のシンボルを有している(図8参照)。また、回答入力ページP3は、最近のユーザの気分を問う質問Q7及びその回答ボタンとして機能する複数の顔型のシンボルを有している(図9参照)。さらに、回答入力ページP4は、ユーザの肌の悩みを問う質問Q8、ユーザの年齢を問う質問Q9、及びこれらの質問Q8及びQ9の回答欄を有している(図10参照)。

【0028】図4に戻って、HTTPD実行部111は、Webクライアント200からの要求がCGIの実行要求であった場合には、このCGI実行要求に含まれたデータ及び記憶部112に記憶されたこのCGIの実

行に際して使用されるデータをCGI実行部120に与える。この例では、HTTPD実行部111は、回答入力ページP1～P4に示された質問Q1～Q9に対する回答データ及び回答に対するCGIの実行要求をWebクライアント200から受信する。HTTPD実行部111は、回答データ及びCGIの実行要求をWebクライアント200から受信した場合には、これらをCGI実行部120に与える。

【0029】さらに、HTTPD実行部111は、CGI実行部120からHTMLデータを受け取った場合には、このHTMLデータをインターネットINを介してWebクライアント200に送信する。この例では、CGI実行部120は、HTTPD実行部111から回答及びCGI実行要求を受け取った場合には、回答データに基づく肌の分析結果(分析結果は、お肌の傾向の鑑別結果、及び肌トラブル出現時期の鑑別結果を含む)を含むWebページ(「分析結果表示ページP5」と称する:図13)を表示するためのHTMLデータを生成し、HTTPD実行部111に与えるようになっている。HTTPD実行部111は、分析結果表示ページP5のHTMLデータをCGI実行部120から受信した場合には、このHTMLデータをWebクライアント200へ送信する。

【0030】記憶部112は、ランダムアクセスメモリやハードディスク等を用いて構成され、Webクライアント200へ送信するためのHTMLデータ、Webクライアント200からの要求に含まれていた各種のデータ、及びCGIの実行に際して使用されるデータ等を記憶する。記憶部112に対するデータの書込/読出処理は、HTTPD実行部111によって行われる。

【0031】CGI実行部120は、Perl、VisualBasic、Java等のプログラミング言語によって作成されたCGIプログラムが動作するワークステーション、パーソナルコンピュータ等により構成され、HTTPサーバ110、DBサーバ130、WebページフォーマットDB140にLAN、WAN等により接続される。CGI実行部120は、HTTPサーバ110から受信したデータに基づいて、DBサーバ130にアクセスすることにより、HTMLデータを生成し、生成したHTMLデータをHTTPサーバ110へ転送する。具体的には、CGI実行部120は、DB問い合わせ部121とWebページ生成部122とを有する。

【0032】DB問い合わせ部121は、HTTPサーバ110から受信した回答データを基にDBサーバ130にアクセスする。即ち、DB問い合わせ部121は、HTTPサーバ110から受信した回答データをDBサーバ130に転送し、DBサーバ130から回答データに対応する分析結果データを取得し、取得した分析結果データをWebページ生成部122に与える。

11

【0033】DBサーバ130は、ランダムアクセスメモリやハードディスクなどを用いて構成される少なくともデータベースを有するワークステーション、パーソナルコンピュータを用いて構成される。DBサーバ130は、CGI実行部120からデータベースへの問い合わせを受信し、その問い合わせに対応するデータベースから該当するデータを読み出し、CGI実行部120に転送する。

【0034】この例では、DBサーバ130は、質問Q1～Q9に対する各回答に応じた肌分析のコメントデータ(鑑別結果データ)を記憶した複数のDBを有している。図4では、複数のDBとして、質問Q1の回答に対応する第1肌チェックDB131と、質問Q2の回答に対応する第2肌チェックDB132とが例示されている。図11は、第1肌チェックDB131のデータ構造を示す図である。図11に示すように、第1肌チェックDB131は、星座名(質問Q1の回答)と肌の傾向を示すコメント(鑑別結果データ)とが対応づけられたデータを記憶する。記憶されたコメントは、本願発明によるお肌の傾向の鑑別法を用いて用意されたものである。図12は、第2肌チェックDB132の有するデータ構造を示す図である。図12に示すように、第2肌チェックDB132は、出身地(質問Q2の回答)と肌の傾向及び肌トラブル出現注意時期を示すコメント(鑑別結果データ)を示すコメント及び肌トラブル出現時期を示すコメントとが対応づけられたデータを記憶する。記憶されたコメントは、本願出願人の発明に係る幼少年期の大半を過ごした地域の気候特性を指標とする肌トラブルの出現注意時期の鑑別法を用いて用意されたものである。DBサーバ130は、回答データに基づいて、第1肌チェックDB131及び第2肌チェックDB132を含む複数のDBから回答データに対応するコメントデータを読み出し、CGI実行部120に転送する。転送されたコメントデータは、DB問い合わせ部121を通じてWebページ生成部122に与えられる。

【0035】Webページ生成部122は、DB問い合わせ部121から鑑別結果データを受信すると、分析結果表示ページP5のフォーマットデータに相当するHTMLデータを、WebページフォーマットDB140から読み出す。Webページ生成部122は、鑑別結果データ及びHTMLデータに基づいて、質問Q1～Q9の回答結果に応じた分析結果表示ページP5のHTMLデータを生成する。WebページフォーマットDB140から読み出されたHTMLデータ(フォーマット)は、DBサーバ130から得られた鑑別結果データを埋め込むことが可能となっている。Webページ生成部122は、HTMLデータ(フォーマット)の所定の位置に鑑別結果データを書き込むことによって、分析結果ページP5のHTMLデータを生成する。生成されたデータは、HTTPサーバ110へ転送され、HTTPサーバ11

12

0を経由してWebクライアント200へ転送される。

- 【0036】図13は、Webページ作成部122によって作成される分析結果表示ページP5のHTMLデータの例を示す図である。図13に示すように、分析結果表示ページP5は、質問Q1～Q3の回答に対応する分析結果1と、質問Q4～Q9の回答に対応する分析結果2とが項目分けして表示される。分析結果1として、星座、出身地、普段過ごしている環境に対する肌の傾向についてのコメント文が表示される。図13に示す例では、星座「山羊座」に対する肌の傾向についてのコメントとして「寒い季節に生まれたあなたは皮脂分泌が少なく、感想による肌のくすみがあらわれやすいという傾向があります」が表示され、出身地「都市部」に対する肌の傾向(肌トラブルの出現注意時期を含む)についてのコメントとして「15歳までに都市部で過ごしていることで、お肌はコンクリートの反射によるUVや冷暖房による温度湿度の影響を受けやすいようです。排気ガス・ほこりなどによりダメージが蓄積していることも、変化する季節に合わせてお手入れを極め細かく変えて行くことが大切です」が表示されている。なお、Webページ作成部122は、Webブラウザに、背景色を淡い青としたコラムの中に、黒又は黒に近い紺色の文字でコメントが表示されるような分析結果表示ページP5のHTMLデータを生成する。なお、出身地に対応する肌トラブルの出現注意時期を明示するコメント(図3に示したような「肌のトラブルに注意するのはこんな時：季節の変わり目」)を分析結果表示ページP5に掲載するようにしても良い。また、図14に示すように、Webブラウザに表示された画面をプリンタなどの印刷装置によって出力した際に、定型紙サイズ(例えばA4サイズ)に印刷されるようにHTMLデータを生成しても良い。
- 【0037】<<Webクライアント200>>Webクライアント200は、パーソナルコンピュータ、ワークステーション、モバイルコンピュータ、PDA、携帯電話機、PHS等のインターネット端末として機能するコンピュータを適用することができる。また、Webクライアント200のインターネットINへの接続形態は、ダイヤルアップIP接続、専用線接続等の既存の接続形態のいずれをも適用することができる。Webクライアント200は、インターネットINを介してWebサーバ100とデータを送受信することにより、Webサーバ100から受信したHTMLデータをWebブラウザによって出力する。具体的には、入力部201、出力部202、Webブラウザ実行部203を有する。入力部201は、ボタン、キーボード、ポインティングデバイス(マウス、トラックボール、ジョイスティック等)等を用いて構成される。出力部202はディスプレイを用いて構成される。Webブラウザ実行部203は、入力部201により入力されたデータをWebサーバ100に送信し、Webサーバ100より受信したデ

13

ータを出力部202に出力する。

【0038】本実施形態におけるシステムは、1台若しくは複数台のWebクライアント200がインターネットINに接続されていても良い。また、本実施形態におけるシステムのWebサーバ100における各部は、1台または複数台のワークステーション、パーソナルコンピュータなどによって実現されてもよい。また、本実施形態におけるシステムのWebサーバ100は、1台のワークステーション、パーソナルコンピュータなどによって実現されてもよい。

【0039】〈本システムの動作例〉次に、本システムの動作例を図15に示すシーケンス図を用いて説明する。まず、Webクライアント200は、Webサーバ100に、肌トラブル出現注意時期の鑑別を行うWebサイトに対応するURLを含んだデータを送信する(ステップS1)。Webクライアント200からURLを含んだデータを受信したWebサーバ100は(ステップS2)、受信したデータに含まれるURLに対応するHTMLデータ(回答入力ページP1～P4)をWebクライアント200に送信する(ステップS3)。

【0040】Webサーバ100よりHTMLデータを受信したWebクライアント200は(ステップS4)、受信したHTMLデータをWebブラウザ実行部で画像に解釈し、出力部202で表示する(ステップS5)。表示された画面(回答入力ページP1～P4)に含まれる質問Q1～Q9に対し、ユーザーは入力部201によって回答を入力すると、Webブラウザ実行部203によりWebサーバ100に対して入力された回答データが送信される(ステップS6)。

【0041】Webサーバ100は、Webクライアント200から質問の回答データを受信すると(ステップS7)、その回答データをHTTPサーバ110を介してCGI実行部120に転送する。CGI実行部120がHTTPサーバ110から回答データを受信すると、DB問い合わせ部121が、当該回答データに対応する鑑別結果データをDBサーバ130から取得する(ステップS8)。

【0042】DB問い合わせ部121は、二つの回答に応じた鑑別結果データを受け取った後、両鑑別結果データをWebページ作成部122へ渡す。Webページ作成部122は、WebページフォーマットDB140から、肌トラブル出現時期の鑑別の結果を示すためのHTMLデータのフォーマットを読み出し、回答に応じた鑑別結果データをHTMLデータのフォーマットに埋め込み、HTMLデータ(分析結果表示ページP5)を生成する(ステップS9)。生成されたHTMLデータは、H

14

TTPサーバ110に渡される。

【0043】HTTPサーバ110は、CGI実行部120より、肌トラブル出現時期の鑑別の結果を示すHTMLデータを受け取り、受け取ったHTMLデータをクライアント200に対して送信する(ステップS10)。クライアント200のWebブラウザ実行部203は、Webサーバ100よりHTMLデータを受信し(ステップS11)、出力部202が分析結果ページP5を表示することによって、星座に応じた肌の傾向や出身地に応じた肌の傾向及び肌トラブル出現時期の鑑別結果が表示される(ステップS12)。

【0044】第2実施形態によれば、インターネットのWebシステムを用いて生まれた季節を指標とするお肌の傾向の鑑別結果を希望者に提供することができる。

【0045】

【発明の効果】本発明によれば、お肌の特性の鑑別を利用した化粧料の選択とそのアドバイスの分野において、的確なアドバイスの作成とその効果的なプレゼンテーションのための技術を提供することができる。

20 【図面の簡単な説明】

【図1】 実施例1に記載されたプロット図である。

【図2】 実施例4～6に記載されたプロット図である。

【図3】 実施例7、8に記載されたシートの図である。

【図4】本発明の第2実施形態におけるシステムの構成例を示す図である。

【図5】回答入力ページの例を示す図である。

【図6】回答入力ページの例を示す図である。

【図7】回答入力ページの例を示す図である。

【図8】回答入力ページの例を示す図である。

【図9】回答入力ページの例を示す図である。

【図10】回答入力ページの例を示す図である。

【図11】第1肌チェックDBの例を示す図である。

【図12】第2肌チェックDBの例を示す図である。

【図13】分析結果表示ページの例を示す図である。

【図14】分析結果表示ページの例を示す図である。

【図15】第2実施形態におけるシステムの動作例を示すシーケンス図である。

40 【符号の説明】

P1～P4 回答入力ページ

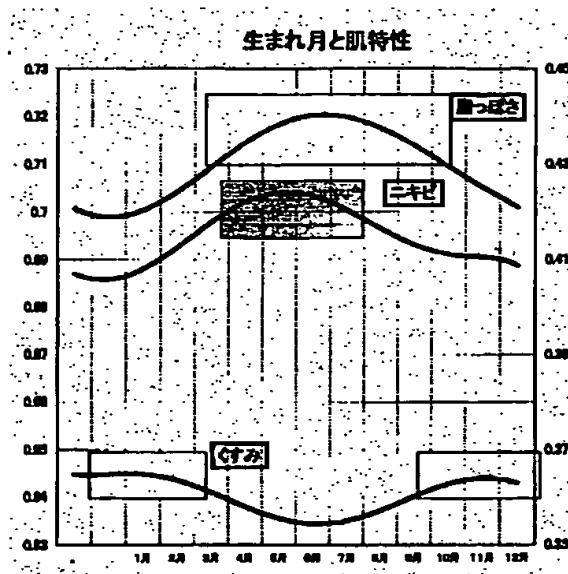
P5 分析結果表示ページ

IN インターネット

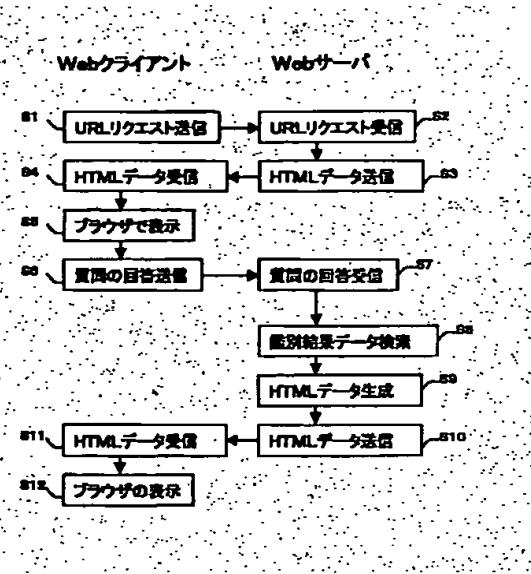
100 Webサーバ

200 Webクライアント

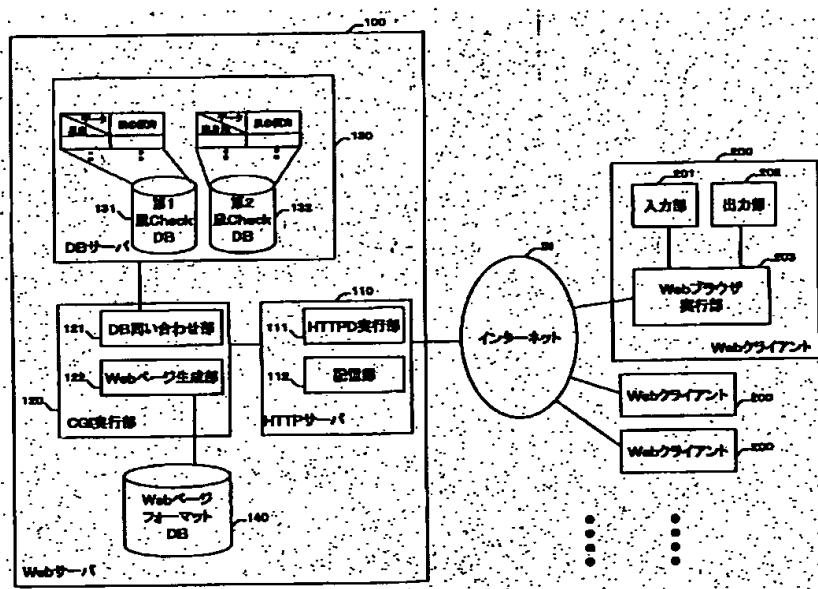
【図1】



【図15】



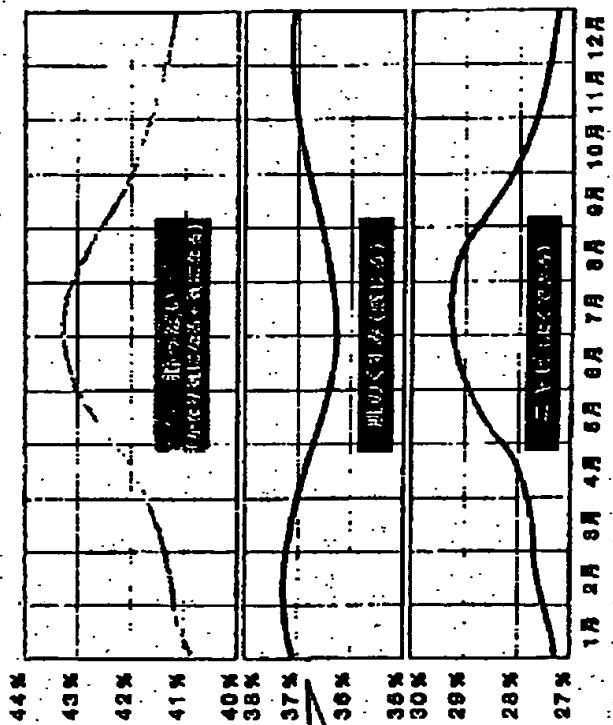
【図4】



【図2】

ボーラの鼠データから、こんな傾向が見えてきました。

生まれ月と鼠のカンケイ



秋～春に生まれた方
(天秤座～魚座)は、
鼠のくすみがちわれ
やすいといえそうです。

春～夏に生まれた方
(牡羊座～乙女座)は、
暑さのため皮脂分泌が
多く気がかなり脂っぽ
くなりやすいです。

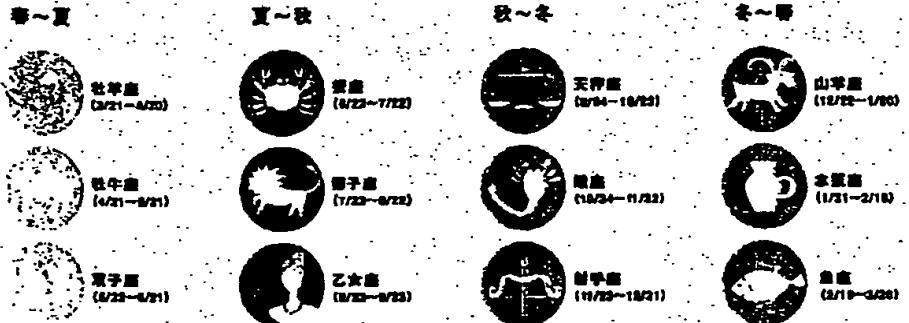
初夏～夏に生まれた方
(牡牛座～獅子座)は、
ニキビがよくできるとい
う傾向もみえています。

【図3】

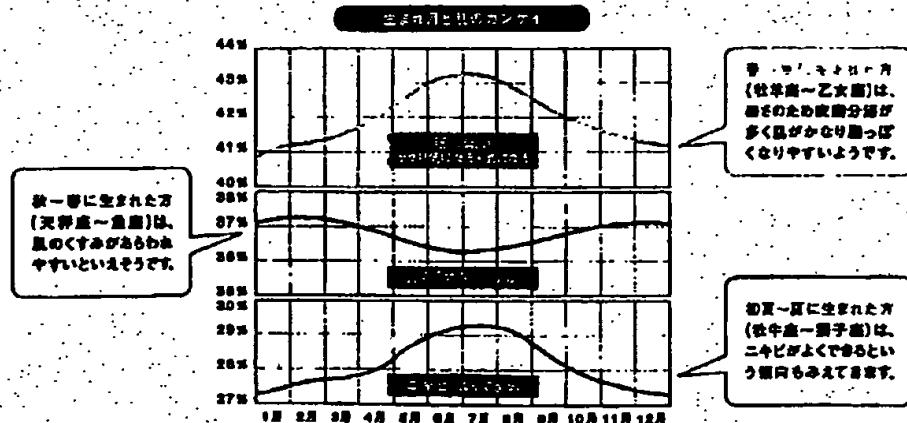
まずはプロフィールチェックです。

Q あなたの星座は?

生まれた季節から風の「囁っぱさ」や「くすみ」の傾向がわかってきます。



ボーラの風データから、こんな傾向が見えてきました。



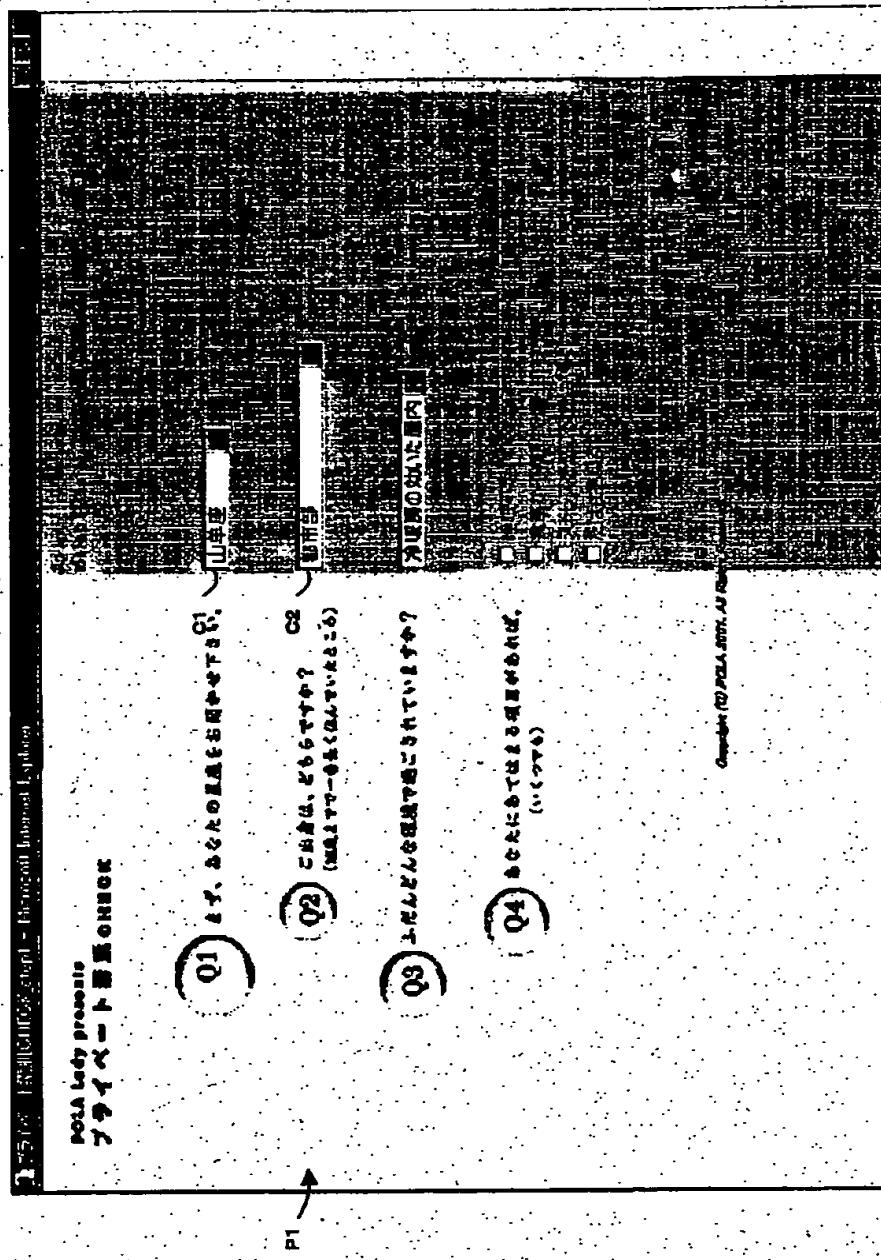
生まれた季節と風の動きのカンケイって?

赤ちゃんは生後1ヶ月ぐらいは室内で過ごしますが、2ヶ月めくらいから外気浴を始めます。お母さんの免疫の力が弱め、自分自身の免疫の動き(外部環境への適応能力)を形成していく時期がどんな状態であつたかによって、皮膚の分離機能も少しずつ変わってくるようです。

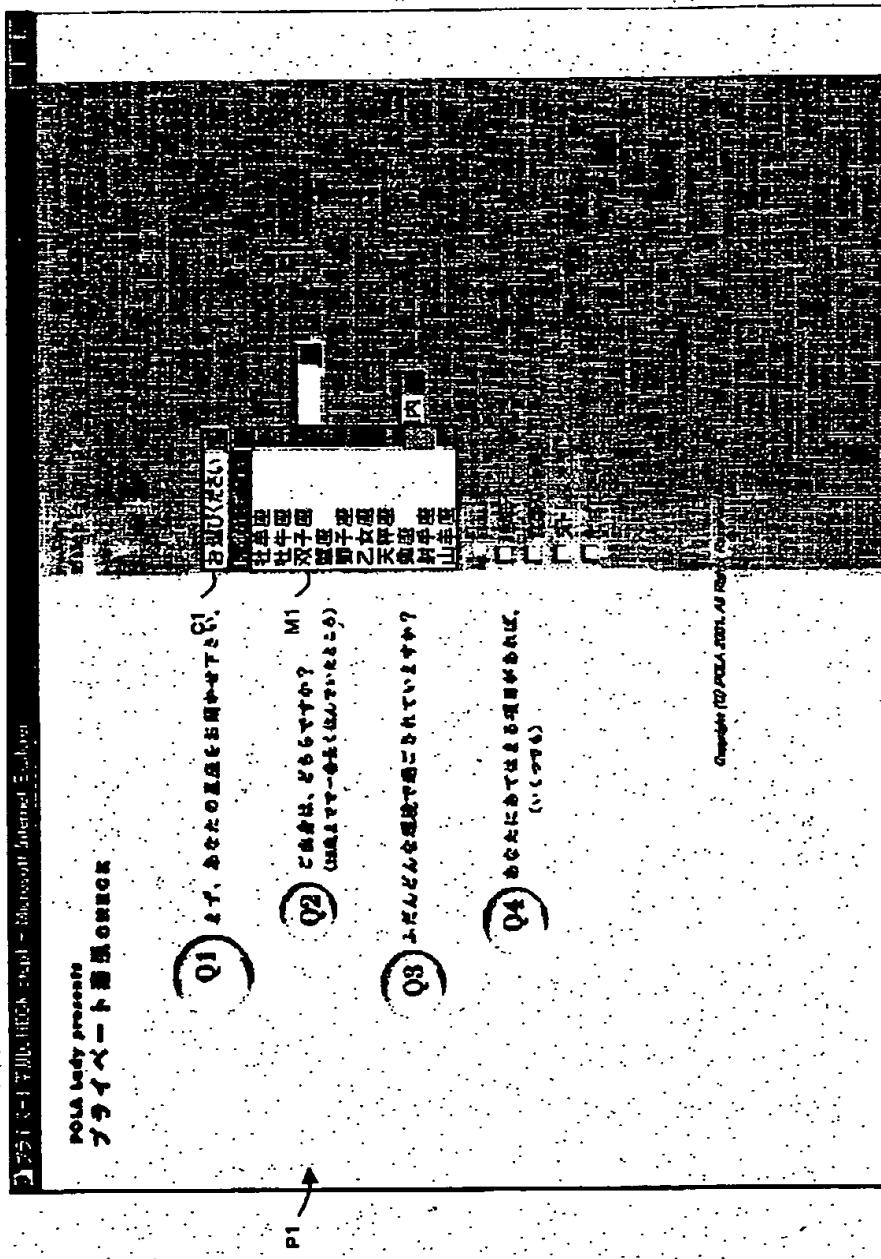


あなたは、この傾向に当てはまりましたか? でも風の力は、その後の環境によっても決まってきます。まあ、次のページへ→ 育ってきた環境をみていましょう。

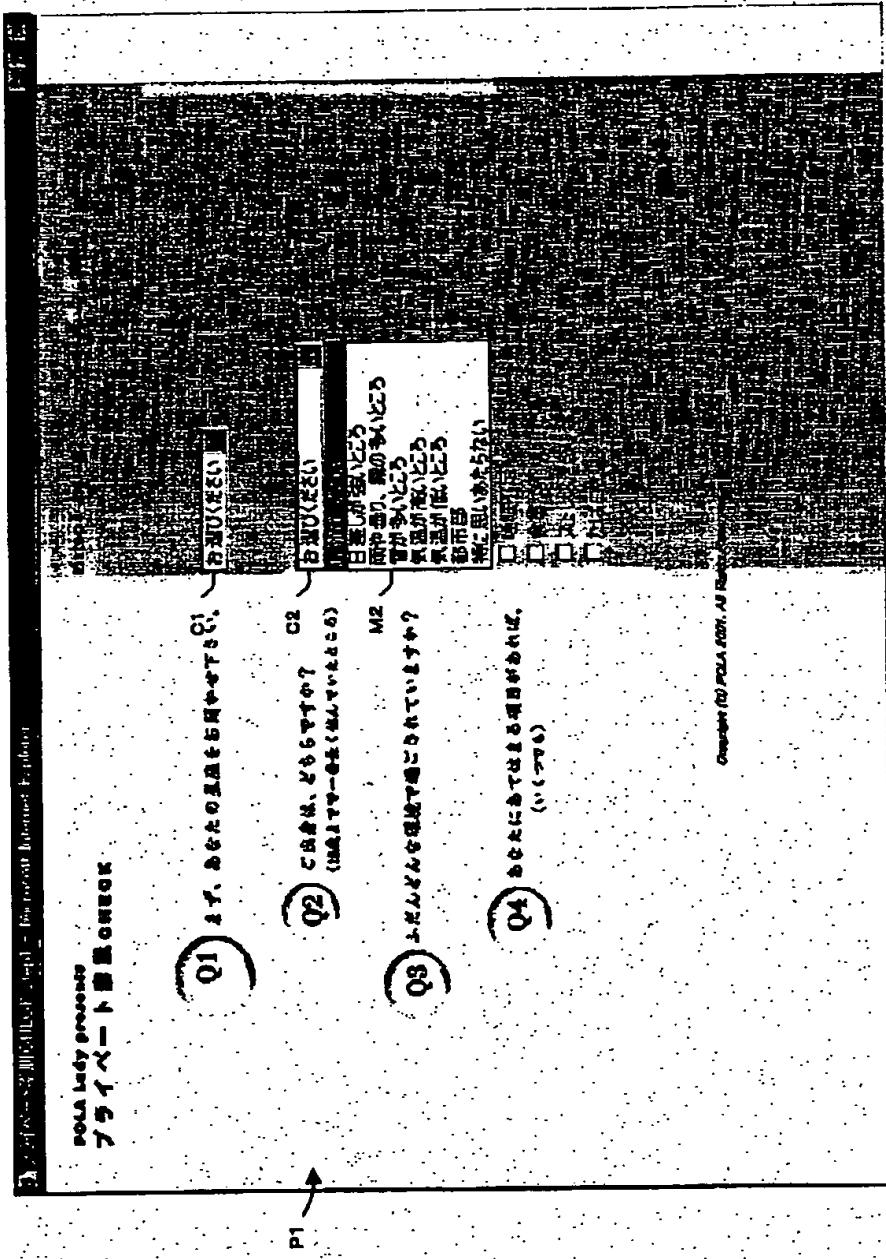
【図5】



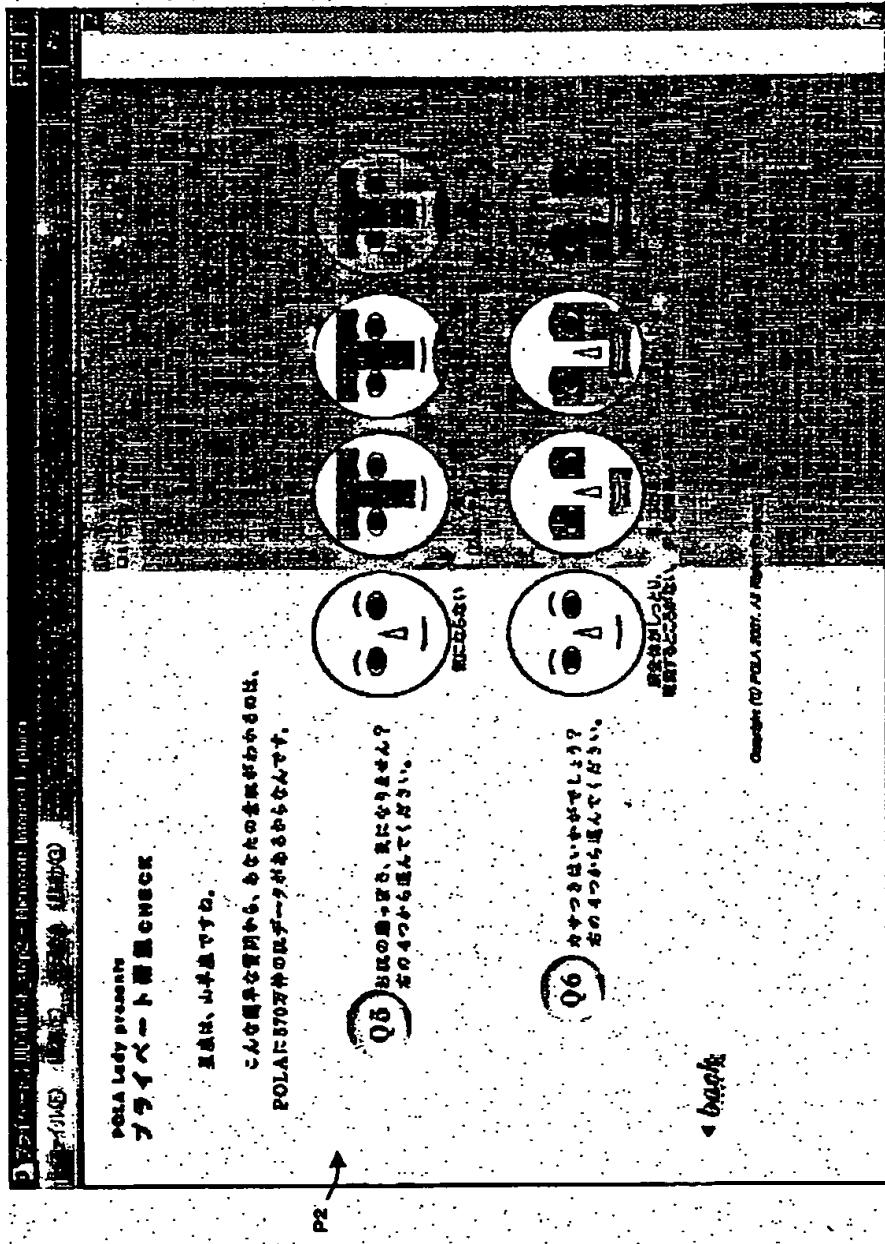
【図6】



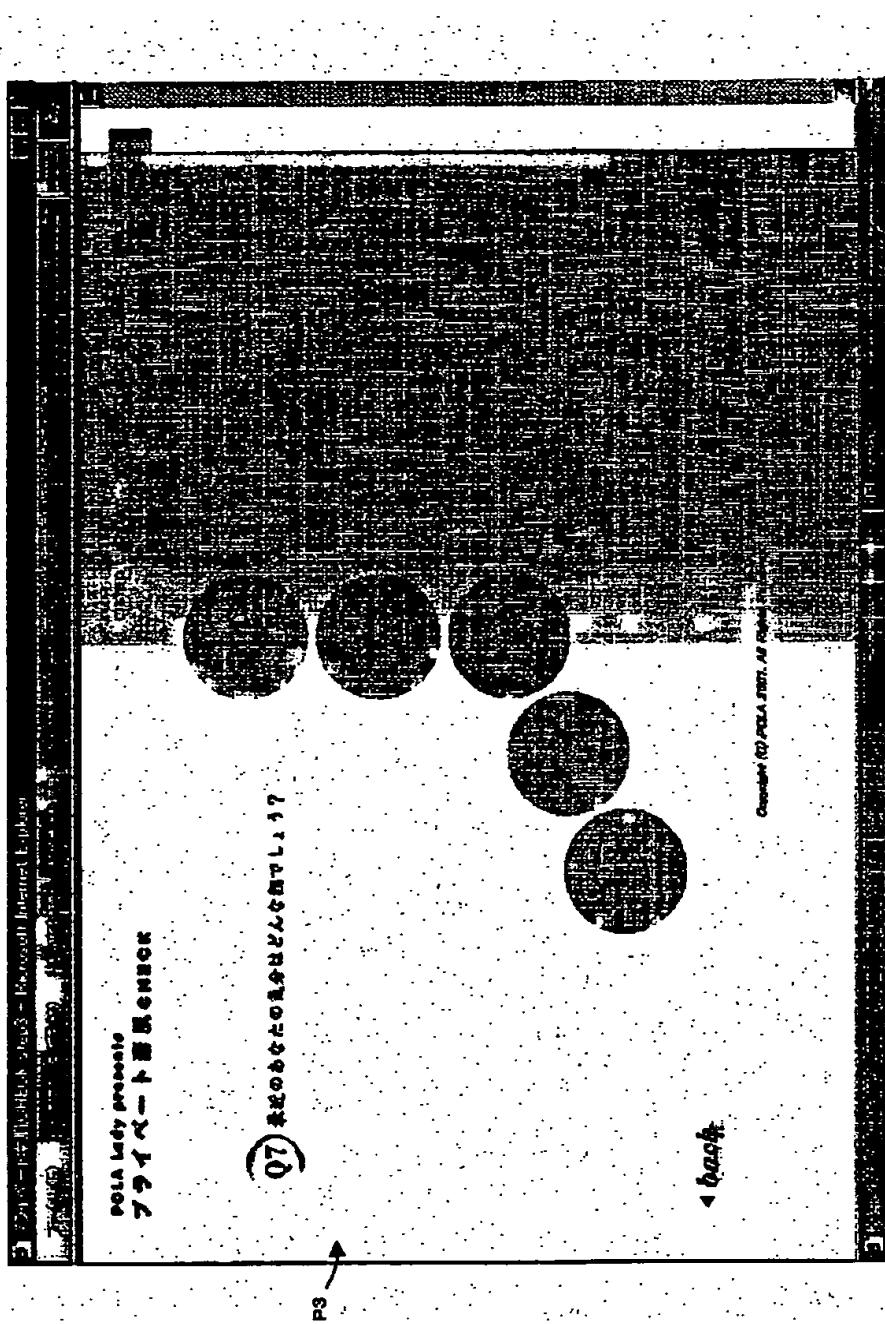
【図7】



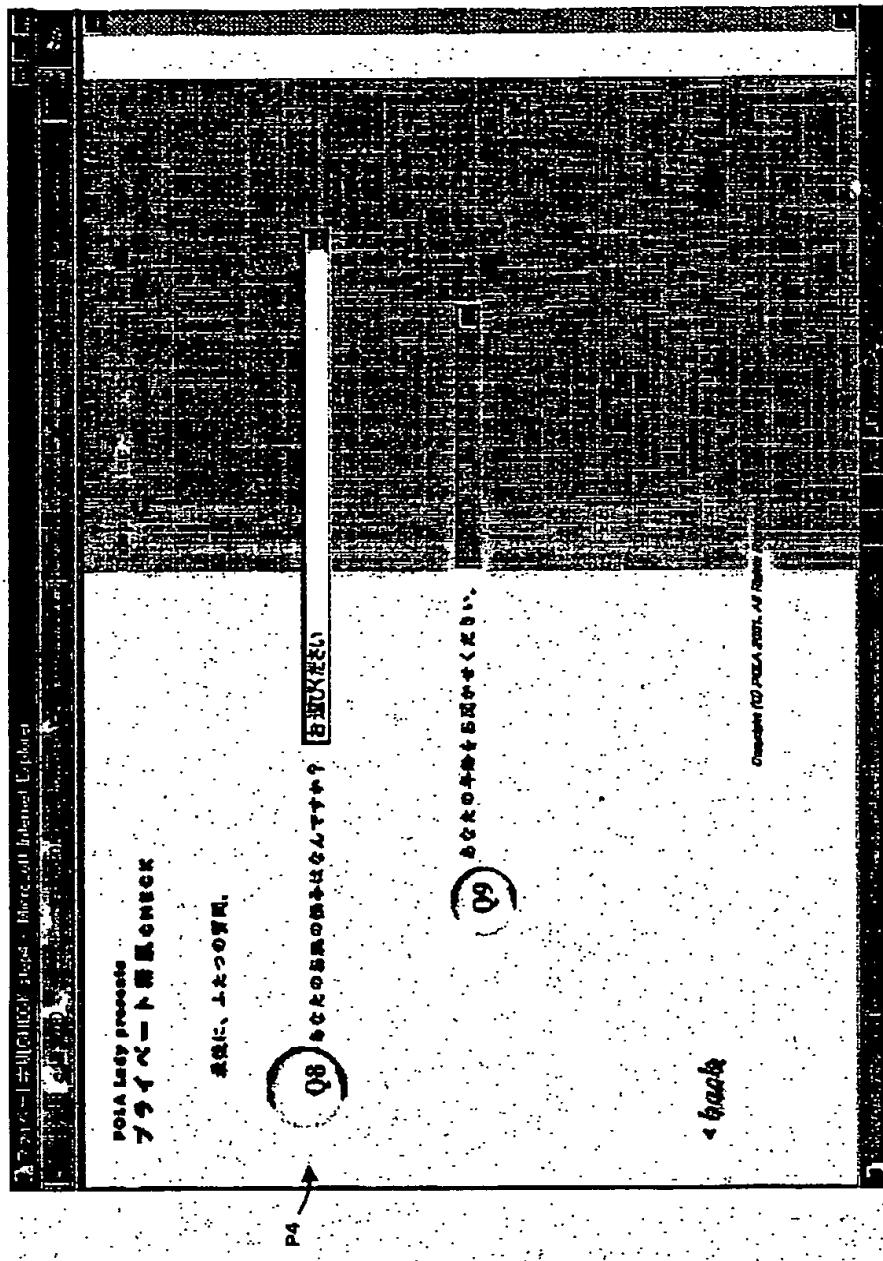
【図8】



【図9】



【图10】



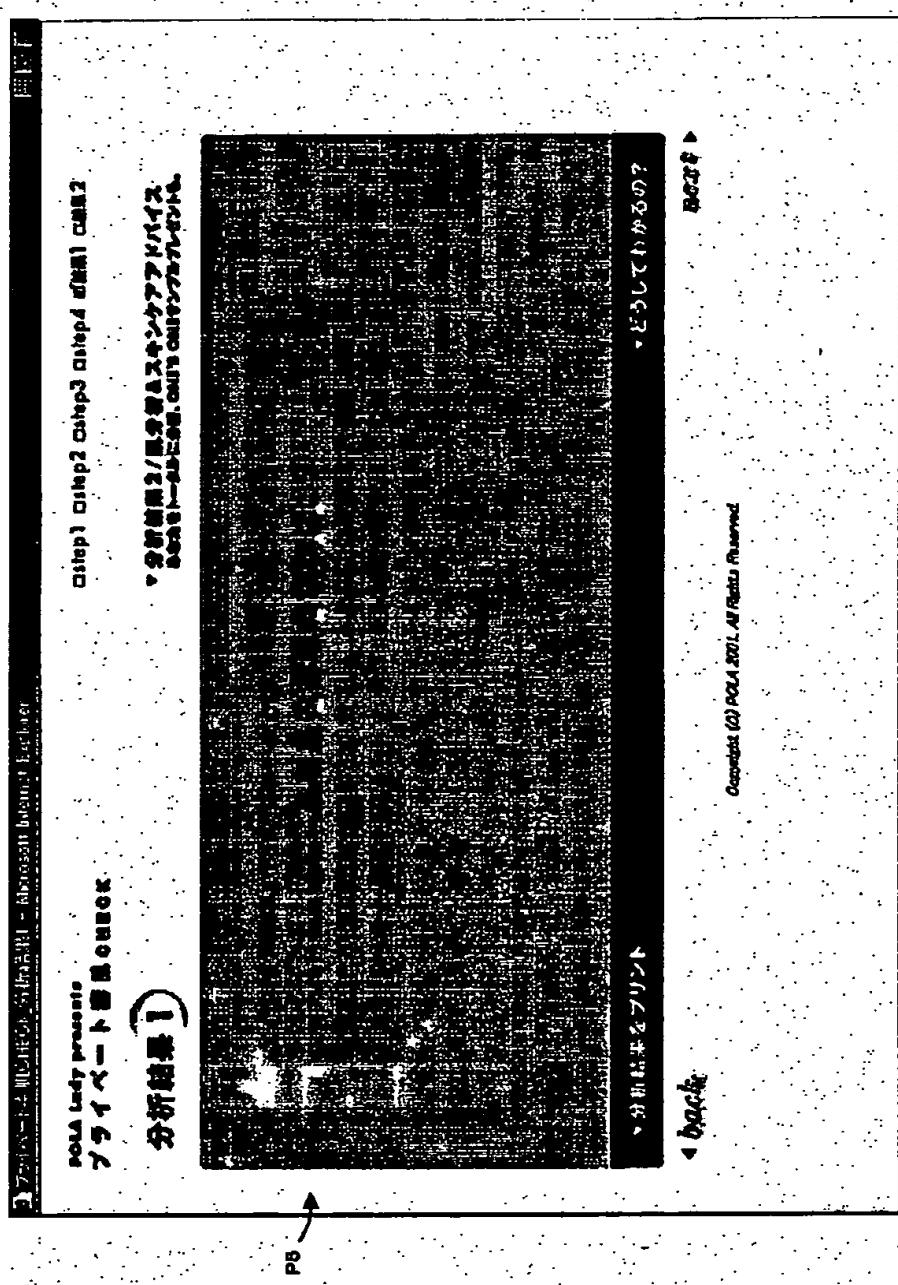
【図11】

データ	肌の傾向
181 山羊座	皮脂分泌が少なく、感想による肌のくすみがあれわれやすい

【図12】

データ	肌の傾向
182 都市部	お肌はコンクリートの反射によるUVや光線浴による湿度湿度の変化の影響を受けやすい…

【図13】



【図14】

POLA Lady presents
プライベート基底CHECK

2001年5月25日

印刷するには<ファイルメニュー>から
<印刷(プリント)>を選択してください。

分析結果1

お~さて、山岸産 都市部 冷暖房のない屋内を避けた
あなたのお肌の傾向は、
早い季節に生まれたあなたは皮脂分泌が少なく、乾燥による肌のくすみがあれわれやすいという傾向があります。
15歳までに都市部で過ごしていることで、お肌はコンクリートの反射によるUVや冷暖房による温度湿度の変化を受け
やすいんです。
換気扇・窓こなしなどによりダメージが蓄積していることも。
また現在、冷暖房のない屋内で過ごすことの多いあなたの肌は外気に近い環境で、角質は少ないようですが、更に高湿・多
湿により、疲れやすくてつづきがち。
冬は低温・低湿で肌の内部の養分が周囲に保てないことも。
変化する季節に合わせてお手入れをきめ細かく変えていくことが大切です。

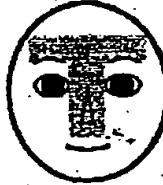
分析結果2

あなたの肌を一ヶ月に分けて、お肌の傾向をチェックします。

肌分析 & スキンケアアドバイス

あなたの肌性は、【普通肌】水分が多く皮脂が少ない肌
うるおいがある肌ですが皮脂が少ないので季節や環境の影響を受けやすい肌です。
お手入れのポイントは
 ●セイシテー品は季節や環境に合わせて
 ●洗顔は肌のうるおいを保つしつとりタイプで
 ●肌の状態に合わせてパッケージを部分ケアを
 普通肌・脂性肌など自分の肌性をご存知の方が多いですが、もっとお肌をよく見つめると実は一言で普通肌といってもテカ
カソーン・カサカサソーンはひとりひとり違うもの。
肌性だけでなく、どの部分がどのような状態なのかを知った上でお手入れすることが大切です。

あなたの部分整は。



アドバイス

●洗顔は脂っぽいところから始めましょう。すすぎはめるまで。
 ●部分的に皮脂が気になる場合はパックのお手入れも効果的。
 肌の状態をみながら乾燥しがちなところを中心にクリーム等保湿の
 効いた商品を少量お使いください。

スキンケアアドバイス

- 洗顔はきちんと行い、余分な皮脂やマークの汚れをしっかり落としましょう。
- マッサージやパックで毛穴の奥にたまらちな皮脂の汚れを取り除きましょう。
- 余分な油分を与えないさっぱりタイプの化粧品でお手入れを。
- 目や口のまわりは皮脂分泌が少なく、室外に乾燥しています。積極的な保湿ケアを。
- 生活アドバイス
 ○皮脂分泌を抑制するビタミンE(牛乳、レバー、納豆など)をとりましょう。乾燥をとりすぎると、皮脂分泌を調整するビタミン
 B2が減少してしまい、肌は脂っぽくなります。

【手続補正書】

【提出日】平成13年9月26日(2001.9.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】生まれた季節を指標とすることを特徴とする、お肌の傾向の鑑別法。

【請求項2】生まれた季節が星座によって表現されることを特徴とする、請求項1に記載のお肌の傾向の鑑別法。

【請求項3】鑑別により選択されるお肌の傾向が、
 1) 脂っぽい傾向、2) ニキビが出来やすい傾向及び
 3) くすみがでやすい傾向の何れかであることを特徴とする、請求項1又は2に記載のお肌の傾向の鑑別法。

【請求項4】生まれた季節を指標とするお肌の傾向の鑑別法で選択されるお肌の傾向が、1) 脂っぽい傾向、
 2) ニキビが出来やすい傾向又は3) くすみがでやすい

傾向の出現確率を表す軸と生まれた月を表す軸の作る平面上に於けるプロットで表されていることを特徴とする、お肌の傾向の鑑別のためのシート。

【請求項5】 プロットが淡色系の寒色をバックに表示されていることを特徴とする、請求項4に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

【請求項6】 淡色系の寒色が、淡青色、淡紫色及び淡緑色から選ばれる1種乃至は2種以上を混和して得られる色であることを特徴とする、請求項5に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

【請求項7】 お肌の傾向のプロットの上部に誕生日と所属星座の対応が可能な星座表を配置していることを特徴とする、請求項4～6の何れか1項に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

【請求項8】 星座表がプロットの背景の色と同色を背景に描かれていることを特徴とする、請求項7に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

【請求項9】 化粧料の選択時に使用されることを特徴とする、請求項4～8の何れか1項に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

【請求項10】 黄道12宮の星座とお肌に関する情報とが同一紙面に記載されたシート。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】この様な状況に鑑みて、本発明者らは、お肌の特性の鑑別を利用した化粧料の選択とそのアドバイスの分野において、的確なアドバイスの作成とその効果的なプレゼンテーションのための技術を求めて鋭意研究努力を重ねた結果、生まれた季節と肌トラブルの種類の間に因果関係が存在し、これを利用することにより、お肌の鑑別の確度を向上せしめ、更に、かかる生まれた季節の表示において、所属星座を用いることにより、この様な関係をより如実に印象づけられ、お肌の適切な手入れを伝達しうることを見いだし、発明を完成させるに至った。即ち、本発明は、以下に示す技術に関するものである。

(1) 生まれた季節を指標とすることを特徴とする、お肌の傾向の鑑別法。

(2) 生まれた季節が星座によって表現されることを特徴とする、(1)に記載のお肌の傾向の鑑別法。

(3) 鑑別により選択されるお肌の傾向が、1) 脂っぽい傾向、2) ニキビが出来やすい傾向及び3) くすみがでやすい傾向の何れかであることを特徴とする、(1)又は(2)に記載のお肌の傾向の鑑別法。

(4) 生まれた季節を指標とするお肌の傾向の鑑別法で選択されるお肌の傾向が、1) 脂っぽい傾向、2) ニキビが出来やすい傾向又は3) くすみがでやすい傾向の出現確率を表す軸と生まれた月を表す軸の作る平面上に於けるプロットで表されていることを特徴とする、お肌の傾向の鑑別のためのシート。

(5) (4)に記載のプロットが淡色系の寒色をバックに表示されていることを特徴とする、(4)に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

(6) 淡色系の寒色が、淡青色、淡紫色及び淡緑色から選ばれる1種乃至は2種以上を混和して得られる色であることを特徴とする、(5)に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

(7) お肌の傾向のプロットの上部に誕生日と所属星座の対応が可能な星座表を配置していることを特徴とする、(4)～(6)の何れか1項に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

(8) 星座表がプロットの背景の色と同色を背景に描かれていることを特徴とする、(7)に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

(9) 化粧料の選択時に使用されることを特徴とする、(4)～(8)の何れか1項に記載のお肌の傾向の鑑別のためのシート。

(10) 黄道12宮の星座とお肌に関する情報とが同一紙面に記載されたシート。

以下、本発明について、実施の形態を中心に更に詳細に説明を加える。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正内容】

【0026】また、図5に示すように、質問Q2は、ユーザが幼少期の大半を過ごした地域を得るために質問であり、ユーザの出身地を問う。回答入力ページP2は、質問Q1の回答欄として、出身地の入力欄C2を有しており、入力欄C2の右側の「▽」ボタンが押されるとアルダウンメニューM2が表示され、ユーザがアルダウンメニューM2から出身地を選択・入力できるようになっている(図7参照)。